



本社（佐賀）

- 本社所在地：〒849-0933 佐賀県佐賀市卸本町6-1
- 事業概要：AI技術やデジタルソリューションを駆使したサービス開発
- 常時使用する従業員：405名
（2025年6月時点）
- 現在の売上高：56.2億円
（2024年6月期）
- 法人番号：6300001003890
- Web：https://www.k-idea.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
木村隆夫

自分らしく健康に生きる社会へ —精密栄養学×AIで創る、未来型ウェルネス企業—

私たちは、医療・IT・地域資源を融合し、誰もが自分らしく健康に生きる未来の実現を目指しています。北海道余市を起点に、精密栄養学（個人の血液・腸内・体調データに基づく栄養最適化）を軸とした新しいウェルネスツーリズムを展開し、SaaS・EC・宿泊事業を一体化した持続可能な事業モデルを構築します。AIによる個別最適化で未病段階から健康を設計する“未来型ヘルスケア体験”を提供し、自社の成長余力と医療ITの専門性を活かして段階的に事業を拡張。2030年に売上100億円を達成し、顧客体験・地域活性・社員の挑戦機会を三位一体で高め、日本を代表するウェルネス企業へと進化します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2025年から2030年にかけて、平均年成長率約10.8%で持続的に事業を拡大し、2030年に売上高102億円の達成を目指す。北海道・余市町を起点に、補助対象事業）で高LTV型モデルを確立。第二段階では幹細胞クリニックや自社ワイナリーを活用した資産性の高い事業も加わり、グループ全体での安定成長の実現を目指す。

課題

本事業の課題は、初期フェーズにおける販路構築、人材確保、専門領域との連携体制。とくにホスピタリティ運営や富裕層向けマーケティング体制の整備が重要。これに対しては、富裕層向け観光実績を持つ現地事業者と提携済で、現地運営を強化。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

第一段階ではリトリート宿泊施設とバイオロジカルキッチン、SaaS、ECの一体整備を行い、自社で高収益・高LTVモデルを確立。このモデルをもとに、精密栄養SaaSを医療・宿泊施設向けに外販し、継続課金型の収益源を構築。第二段階では、ビーチエリアとワイナリー上部のレストラン施設、宿泊施設、分譲型コンドミニアムの開発を進め、資産性と回転率の高い事業構造を形成。さらに、地域連携や海外展開、M&Aによるスピード成長も視野に入れ補助金レバレッジの最大化を図る。

実施体制

本事業は、木村情報技術の医療・AI・R&Dチームが中心となり、SaaSや栄養解析システムを自社開発・運用。宿泊・飲食部門は、余市の観光・医療事業者と連携し、地域資源を活かした高付加価値体験を提供。医師・栄養士による専門監修体制も整備し、地域と共に質の高い持続可能なサービス提供を実現。さらに、教育・運営体制を段階的に内製化し、長期的な人材基盤も構築。

売上高100億円実現の目標と課題

KITホールディングス株式会社は、木村情報技術株式会社（ソフトウェア開発）および余市Kプロジェクト株式会社（施設運営）と連携し、余市町において医療・食・ITを融合した新たなウェルネス事業を展開。

医療SaaSや再生医療によって、自社の成長余力とIT開発能力を活かした高収益事業を構築し、2030年に既存事業で売上高80億円、新規事業（本補助事業に加えてワイナリー、幹細胞医療）による売上高が16億円、M&Aを活用した不動産収益等で6億円、合計売上高102億円を目指します。

直近の課題は以下の3点です：① 継続収益型SaaS事業の早期立ち上げ、② 医療・観光複合サービスの運営体制構築、③ 富裕層を対象とした販売チャンネルとブランド戦略の整備。

【売上高100億円実現に向けた具体的措置】
本補助事業を通じ、以下の中核的取り組みを実施します。

- 1.ソフトウェア開発
Precision-Nutrition SaaSとEC定期便の開発・運用により、継続課金型の収益モデルを確立。
- 2.施設整備（余市プロジェクト）
温泉リゾート・バイオリジカルキッチンを整備し、幹細胞治療・栄養解析・食体験を融合した高単価サービスを展開。
- 3.用地戦略
余市の地価優位性を活かし、低コストで高収益な不動産投資を実施。ホテル・コンドミニアム等の資産活用も推進。

実施体制
経営会議を定期開催し、補助事業のKPI管理と横断的な機能連携により、迅速かつ柔軟な実行体制を構築。
また、医療・ホスピタリティ領域の専門家を戦略パートナーとして迎え、運営精度を高めます。

売上高

